

# 平成24年度 復興実施計画の施策体系・事業に基づく進捗状況の概要（確定版）

円グラフの見方：〈進捗率〉（指標数）  
（進捗率の占める割合）

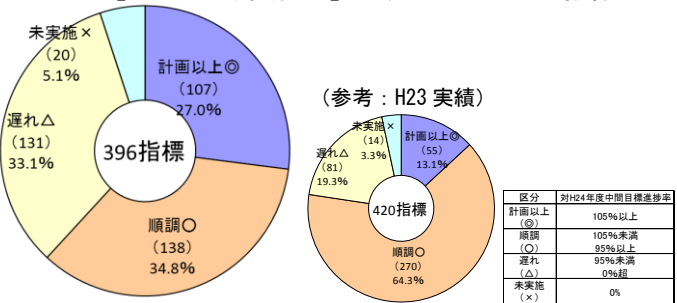
## 1 趣旨

- 「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画 第1期（平成23年度～平成25年度）」の構成事業を対象とし、復興に向けた3つの原則である「安全の確保」、「暮らしの再生」及び「なりわいの再生」の観点から、平成25年3月末時点における進捗状況（第1期末目標及び平成24年度中間目標に対する進捗率）を示すもの。
- この進捗状況を基に、「復興に関する意識調査」や「復興ウォッチャー調査」による主観指標、地域毎の人口動態や商工業指標などの「いわて復興インデックス」の客観指標なども含めて分析することにより、その結果を、第2期復興実施計画の策定を含め、本県の今後の復興施策・事業に反映させていくもの。

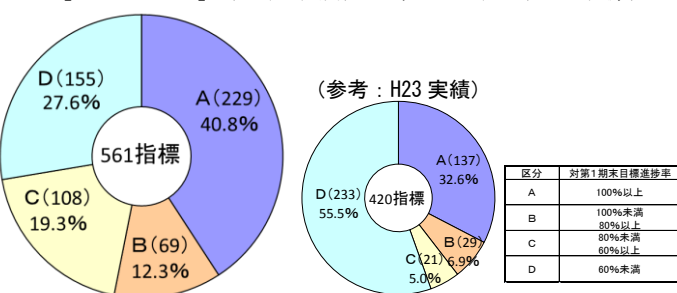
## 2 全体の状況

- 平成24年度中間目標に対する進捗率は、「計画以上」順調が61.8%（245指標）ある一方、「遅れ」「未実施」が38.2%（151指標）となっている。ただし、「遅れ」「未実施」のうち、他の有利な制度を活用したもの又は実際のニーズが計画値を下回ったものが77指標あり、実質的に遅れが生じているのは、18.7%（74指標）である。その要因は、主に①復興まちづくりの遅れの影響によるものだが、個別の事情として、②関係機関等との調整、③事業用地の確保、④入札不調等で事業着手が遅れたもの等が挙げられる。
- また、発災後これまでに実施した事業の第1期末の目標に対する進捗率は、561指標から見ると、「80%以上」が約53%となっているが、第1期末目標を達成するためには、上記の「遅れ」「未実施」の要因解消を目指し、①人材・資材の確保、②事業用地を円滑に確保するための手続の抜本的な簡素化などの対策を講じ、迅速な復興を遂げることが必要である。

- (1) 平成24年度中間目標に対する進捗率  
・「計画以上◎」及び「順調○」が、61.8%（245指標）  
・「遅れ△」及び「未実施×」が、38.2%（151指標）



- (2) 第1期末目標に対する進捗率  
・「A」及び「B」（80%以上）が、53.1%（298指標）  
・「C」及び「D」（80%未満）が、46.9%（263指標）



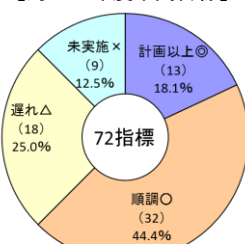
## 3 3つの原則及び10分野の取組状況

### 安全の確保

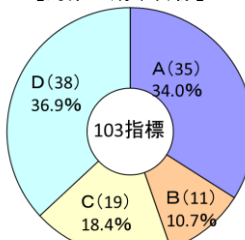
- 「平成24年度中間目標」に対する進捗率は、「順調」等が62.5%である一方、「遅れ」等が37.5%。
- ・**順調**：下水処理施設復旧、三陸鉄道復旧、避難用具整備
- ・**遅れ**：災害廃棄物処理（津波堆積物等の処理）、河川等災害復旧・緊急避難路整備（まちづくり計画との調整）

- (1) 平成24年度中間目標に対する進捗率  
・「計画以上◎」及び「順調○」が、62.5%（45指標）  
・「遅れ△」及び「未実施×」が、37.5%（27指標）
- (2) 第1期末目標に対する進捗率  
・「A」及び「B」（80%以上）が、44.7%（46指標）  
・「C」及び「D」（80%未満）が、55.3%（57指標）

【対H24年度中間目標】



【対第1期末目標】

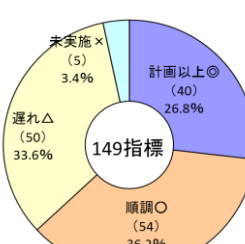


### 暮らしの再生

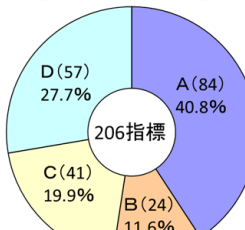
- 「平成24年度中間目標」に対する進捗率は、「順調」等が63.0%である一方、「遅れ」等が37.0%。
- ・**順調**：こころのケアセンター設置運営、県立学校施設災害復旧、アスレチックトレーナー派遣
- ・**遅れ**：災害復興公営住宅等整備（事業用地の確保）、離職者等再就職訓練（国に同様の事業）、医療施設の移転新築（補助事業者の計画調整や工事実施に不測の日数）

- (1) 平成24年度中間目標に対する進捗率  
・「計画以上◎」及び「順調○」が、63.0%（94指標）  
・「遅れ△」及び「未実施×」が、37.0%（55指標）
- (2) 第1期末目標に対する進捗率  
・「A」及び「B」（80%以上）が、52.4%（108指標）  
・「C」及び「D」（80%未満）が、47.6%（98指標）

【対H24年度中間目標】



【対第1期末目標】

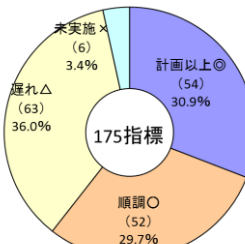


### なりわいの再生

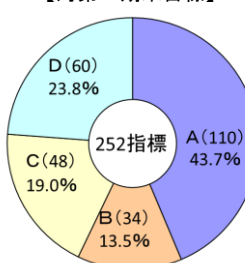
- 「平成24年度中間目標」に対する進捗率は、「順調」等が60.6%である一方、「遅れ」等が39.4%。
- ・**順調**：養殖施設整備、食品事業者に対する品質管理・商品開発等の支援、特区制度等の活用による新規立地・増設、海外旅行博出展
- ・**遅れ**：海岸保全施設本復旧・復興組合による農地の復旧作業支援（まちづくり計画との調整）、事業者の二重債務対策（まちづくりの遅れによる企業の本格復興の遅れ）

- (1) 平成24年度中間目標に対する進捗率  
・「計画以上◎」及び「順調○」が、60.6%（106指標）  
・「遅れ△」及び「未実施×」が、39.4%（69指標）
- (2) 第1期末目標に対する進捗率  
・「A」及び「B」（80%以上）が、57.2%（144指標）  
・「C」及び「D」（80%未満）が、42.8%（108指標）

【対H24年度中間目標】



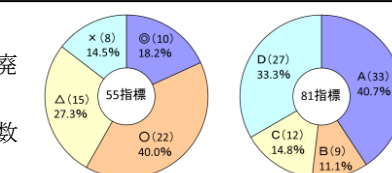
【対第1期末目標】



### I 防災のまちづくり

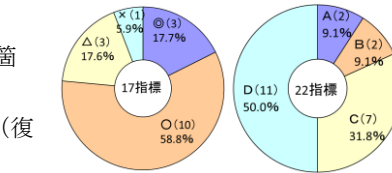
- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「災害廃棄物の処理（災害廃棄物緊急処理支援事業）」など41.8%（23指標）に遅れ等
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「避難用具整備箇所数（自主防災組織等活動促進事業）」など51.8%（42指標）

【対H24年度中間目標】 【対第1期末目標】



### II 交通ネットワーク

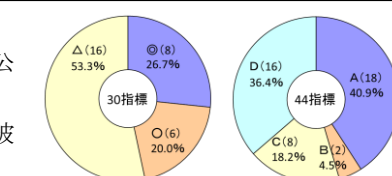
- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「避難対策施設の整備着手箇所（港湾施設機能強化事業）」など23.5%（4指標）に遅れ等
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「供用延長（改築）（復興道路整備事業（改築））」など18.2%（4指標）



### III 生活・雇用

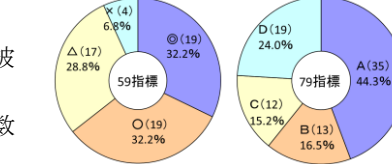
- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「公営住宅整備（災害復興公営住宅等整備事業）」など53.3%（16指標）に遅れ
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「補修・改修支援（被災住宅改修支援事業）」など45.4%（20指標）

【対H24年度中間目標】 【対第1期末目標】



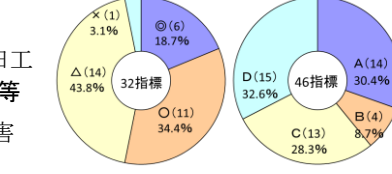
### IV 保健・医療・福祉

- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「移転・新築医療施設数（被災地医療施設復興支援事業）」など35.6%（21指標）に遅れ等
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「災害復旧医療施設数（被災地医療確保対策事業）」など60.8%（48指標）



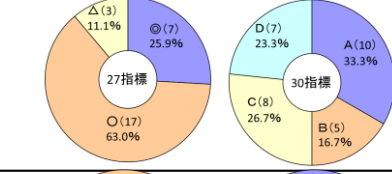
### V 教育・文化

- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「市町村立文化施設災害復旧工事（公立文化施設災害復旧事業）」など46.9%（15指標）に遅れ等
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「県立学校施設の災害復旧（学校施設災害復旧事業）」など39.1%（18指標）



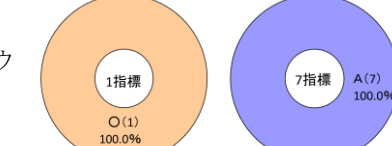
### VI 地域コミュニティ

- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、11.1%（3指標）に遅れ
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「マップづくり市町村数（災害時要援護者支援対策事業）」など50.0%（15指標）



### VII 市町村行政機能

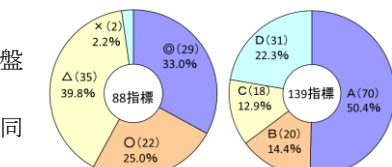
- ① 平成24年度中間目標の進捗率が「順調」以上は「自治体クラウドの導入（被災地域情報化推進事業）」100.0%（1指標）
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、100.0%（7指標）



### VIII 水産業・農林業

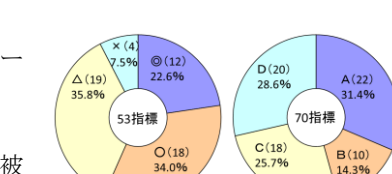
- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「復旧施設数（水産業経営基盤復旧支援事業（共同利用施設））」など42.0%（37指標）に遅れ等
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「新規登録漁船数（共同利用漁船等復旧支援対策事業）」など64.8%（90指標）

【対H24年度中間目標】 【対第1期末目標】



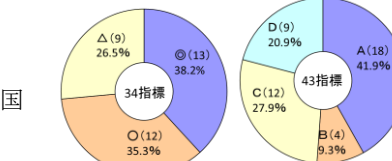
### IX 商工業

- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、「岩手県産業復興相談センターの相談受付件数（復興支援ファンド設立支援事業）」など43.3%（23指標）に遅れ等
- ② 第1期末目標の進捗率が「80%以上」は、「支援ポータル企業数（被災ものづくり企業支援ポータルを活用した被災企業支援）」など45.7%（32指標）



### X 観光

- ① 平成24年度中間目標の進捗率は、26.5%（9指標）に遅れ
- ② 第1期末の目標到達度が「80%以上」は、「海外旅行博への出展（国際観光推進事業）」など51.2%（22指標）





## 「遅れ」「未実施」の要因分析

- 平成24年度中間目標に対する進捗率は、396の指標からみると、「遅れ」が33.1%（131指標）、「未実施」が5.1%（20指標）、合計38.2%（151指標）。

- これら「遅れ」「未実施」の要因を、次の分類に基づき整理。

	分類	内容
1	まちづくりの遅れの影響	「まちづくりの遅れの影響」全般を受けたもの
2	着手の遅れ	(1)関係機関等との調整 特に、住民との合意形成や国、関係機関との調整に不測の日数を要したもの
		(2)用地確保 特に、用地確保に不測の日数を要したもの
		(3)入札不調等 特に、入札不調等に不測の日数を要したもの
3	進捗の遅れ	(1)工法変更 追加工事等の工法変更
		(2)作業不能 悪天候による作業不能等
4	「その他」	上記分類に該当しないもの
5	「事業見込み量の減少」	支援対象の需要が計画値を下回ったもの
6	「他制度活用」等	国、市町村等の他の制度が活用されたもの等

- 「遅れ」「未実施」事業（151指標）には、「事業見込み量の減少」（58指標（38.4%））、「他制度活用」（19指標（12.6%））の、77指標（51.0%）が含まれている。  
これらを除いた、**実質的な遅れが生じているものは74指標（49.0%）**〔全指標中18.7%〕である。  
そのうち、「まちづくりの遅れの影響」が33.8%、「着手の遅れ」関係が36.5%、「進捗の遅れ」関係が16.3%となっている。

また、指標の評価が「遅れ」又は「未実施」の事業について、**根幹的な原因**を整理すると以下の3つに整理されるところであり、復興を加速化させるためには、この3つの課題を解消することが重要である。  
なお、事業によっては、複数の要因を持つものもある。

### ・マンパワー不足

まちづくり計画調整の遅れや、機関間調整又は用地交渉等の難航、広報・周知不足が生じている。

### ・財源不足・財源自由度等の問題

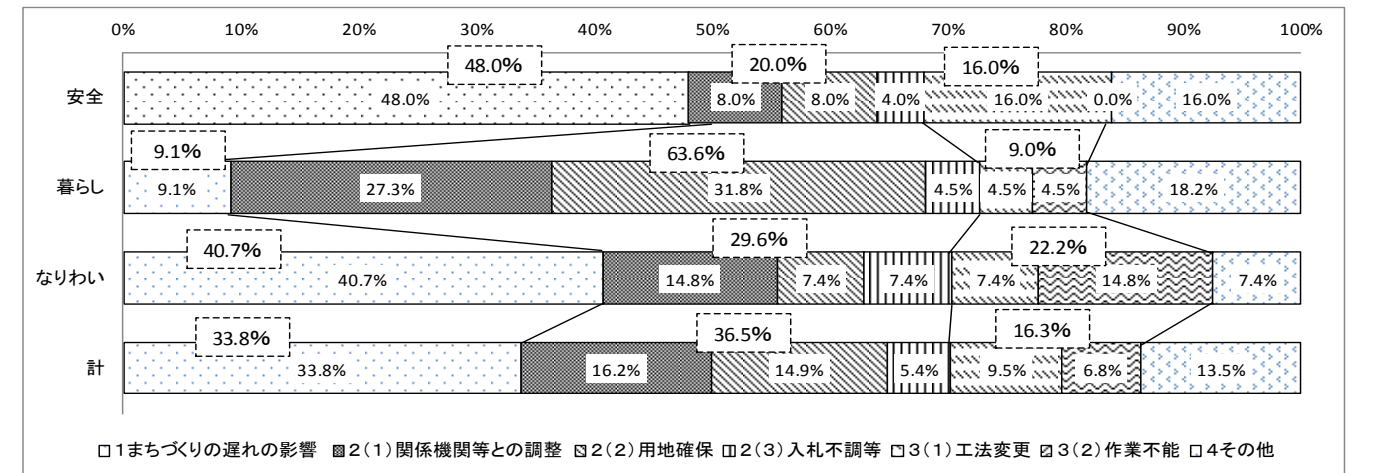
復興ニーズへの対応力不足、人材活用への支援不足、経費増嵩への対応不足が生じている。

### ・用地取得制度に係る問題

用地交渉や取得手続等に多大な手続と時間が要するなど、用地取得で既存制度の限界が生じている。

## 実質的な「遅れ」「未実施」の要因（74指標中）

	1まちづくりの遅れの影響	2着手の遅れ			3進捗の遅れ		4その他	計
		(1)関係機関等との調整	(2)用地確保	(3)入札不調等	(1)工法変更	(2)作業不能		
安全	12	2	2	1	4	0	4	25
暮らし	2	6	7	1	1	1	4	22
なりわい	11	4	2	2	2	4	2	27
計	25	12	11	4	7	5	10	74



- それぞれの要因に分類される**主な事業例**は、以下のとおり。

### 1 まちづくりの遅れの影響

- ・交通安全施設災害復旧事業の「信号機・標識・標示」（復興まちづくりと一体整備）
- ・緊急避難路整備事業の「避難路着手」（市町村まちづくり計画と調整中）

### 2 着手の遅れ

- ・港湾施設機能強化事業の「避難対策施設の整備着手箇所」（市の避難計画との調整）
- ・災害復興公営住宅等整備事業の「公営住宅整備」（事業用地の確保の難航）

### 3 進捗の遅れ

- ・汚水処理施設整備事業の「農業集落排水施設復旧」（計画変更が必要）
- ・海岸保全施設災害復旧事業の「工事完了農地海岸数」（悪天候による工事の遅延）

### 4 その他

- ・災害廃棄物緊急処理支援事業の「災害廃棄物の処理」（津波堆積物等の処理の遅れ）
- ・国際経済交流推進事業の「商談会・フェアの開催回数」（尖閣諸島問題により中国開催を中止）

### 5 事業見込み量の減少

- ・災害復興再建住宅融資利子補給事業の「補修補助」（補修実績が計画を下回った）
- ・腎不全対策医療設備整備事業の「人工腎臓装置の整備」（補助申請が計画を下回った）

### 6 他制度活用

- ・離職者等再就職訓練事業の「受講者数」（国の「求職者支援訓練」で同様の事業）
- ・水産養殖施設災害復旧事業の「施設整備数」（国の「がんばる養殖復興支援事業」で同様の事業）